



10万人のセールスマン作戦

—市民が創る千歳のまち— **第4弾**



これまで3回にわたり、千歳の魅力をお伝えしてきました。今回は、その第4弾として、市の企業誘致・企業振興の取り組みについてお知らせします。

千歳の魅力

千歳市には、テレビでよく見る企業、日常からよく使う製品をつくっている企業、よく口にする商品をつくっている企業など、たくさんの方が進出しています。

千歳市は、企業にとって「魅力のあるまち」です。

魅力1 良質で豊富な水
食品や飲料の製造、電子部品の製造に欠かせません

魅力2 アクセスの良さ
人の移動、製品の部品、原材料の搬送に利点となります。

魅力3 人材の確保
高校や大学があることにより、優秀な人材を確保できます。

魅力4 涼やかな気候
過ごしやすいことや、製造業など、工場の冷房エネルギーを格段に抑えることができます。

市民協働のまちづくり

進出している企業や工業団地など、まちの魅力を共有して、千歳のまちのすばらしさについて、親戚をはじめ、知人や友人、全国の企業の方々などに紹介していただくことは、企業の進出や居住地として、千歳を選ぶことにつながり、就業先の創出や拡大、人口の増加など、まちの活気、活力を生み出します。

10万人のセールスマン

現在、千歳の人口は、約9万5千人、年間の異動者は、5千人を超えています。千歳の昼間人口は、夜間人口よりも4.7%多く、たくさんの方が千歳で働いています。これらの方々も含め、千歳市民や千歳の魅力を知っている全国各地に異動した千歳市民のOB「10万人」が千歳のまちの魅力を売り込む、これが「10万人のセールスマン作戦」の考え方です。

人口

千歳市は、人口が増加しているまちです。

市の人口は、増加

テレビやラジオ、インターネットなど、さまざまなニュース報道によって、ご存じの方もいると思いますが、北海道の人口は、年々減少しています。総務省が発表した、住民基本台帳に基づく人口動態調査によると、平成26年1月1日現在の北海道における日本人の人口は、544万1,079人です。前年との比較では、2万9,639人少なく、16年連続の減少になります。

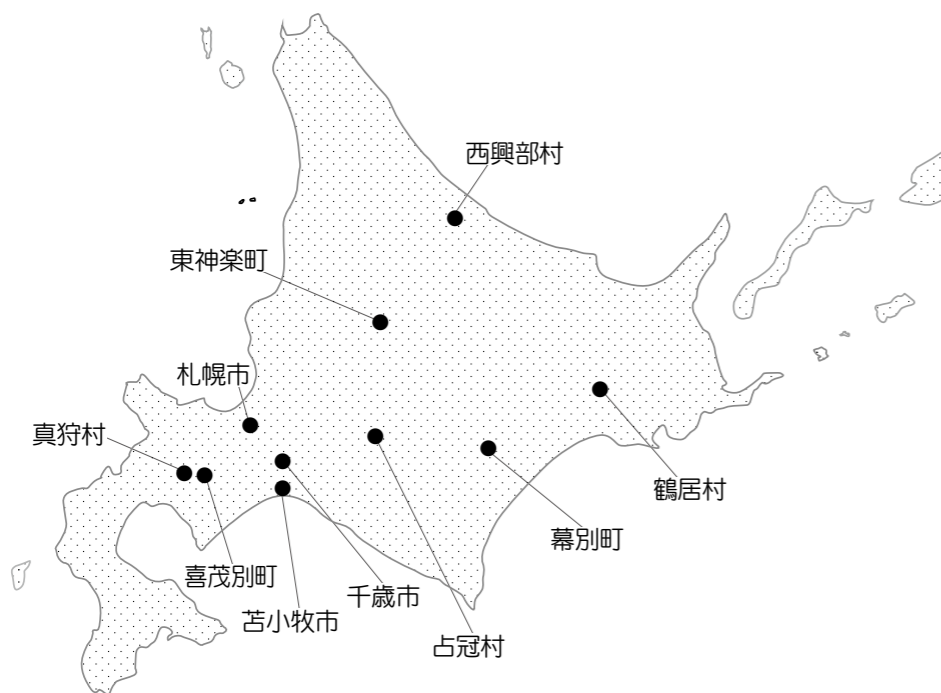
道内で日本人の人口が増加しているのは、179市町村のうち、札幌市をはじめとする10市町村です（左の表参照）。前年と比較すると、一番は、札幌市7,776人の増、2番は、千歳市5,511人の増、3番は、東神楽町1,488人の増と続きます。

千歳市は、道内において人口が増加している数少ないまちの一つです。

道内で人口が増加した市町村（増加順）

順位	市町村名	人口	前年比増加数
1	札幌市	1,921,070人	7,776人
2	千歳市	95,078人	551人
3	東神楽町	10,034人	148人
4	喜茂別町	2,400人	35人
5	苫小牧市	174,024人	32人
6	西興部村	1,169人	11人
7	幕別町	27,621人	10人
8	占冠村	1,162人	6人
9	鶴居村	2,524人	6人
10	真狩村	2,148人	4人

※人口は、平成26年1月1日現在（外国人を含まない）。

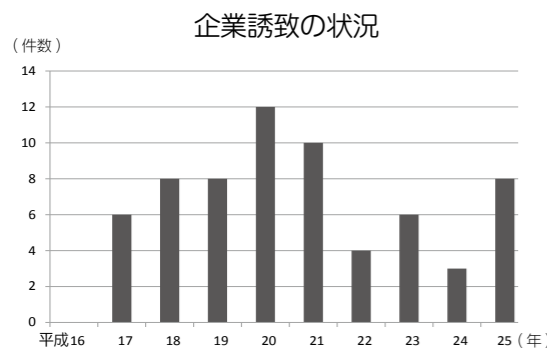


企業誘致の状況

まちの活力を維持するためには、定住人口の維持・拡大が重要です。

市では、さまざまな視点から定住人口が増加するよう、取り組みを進めています。

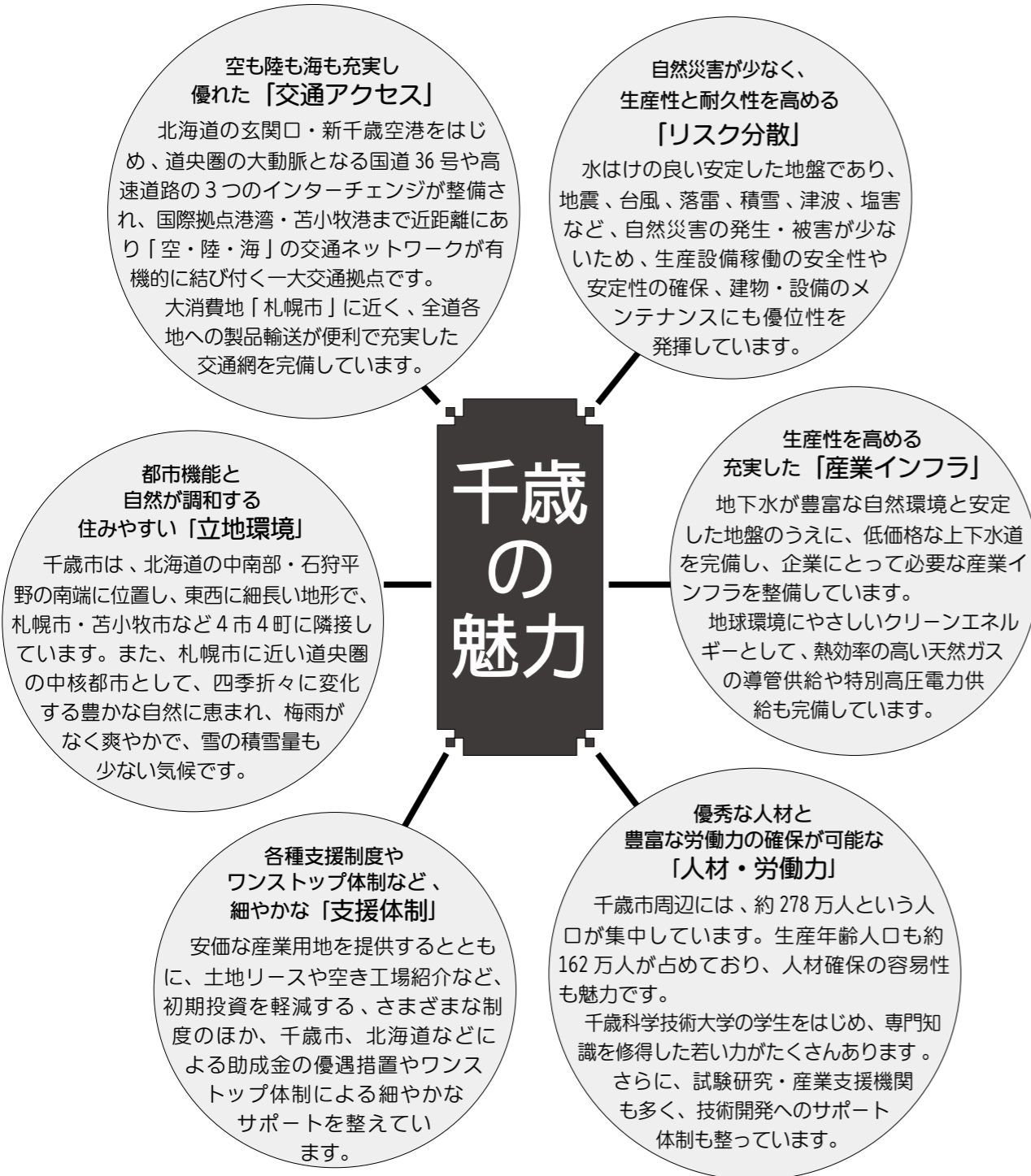
その一つとして「企業誘致・企業振興」に取り組んでおり、平成16年度～平成25年度（左のグラフ参照）までの最近10年間では、65の企業が千歳市に進出しています。



工業団地には、さまざまな業種の企業が操業しています。

千歳市の工業団地には、6つの魅力があります。

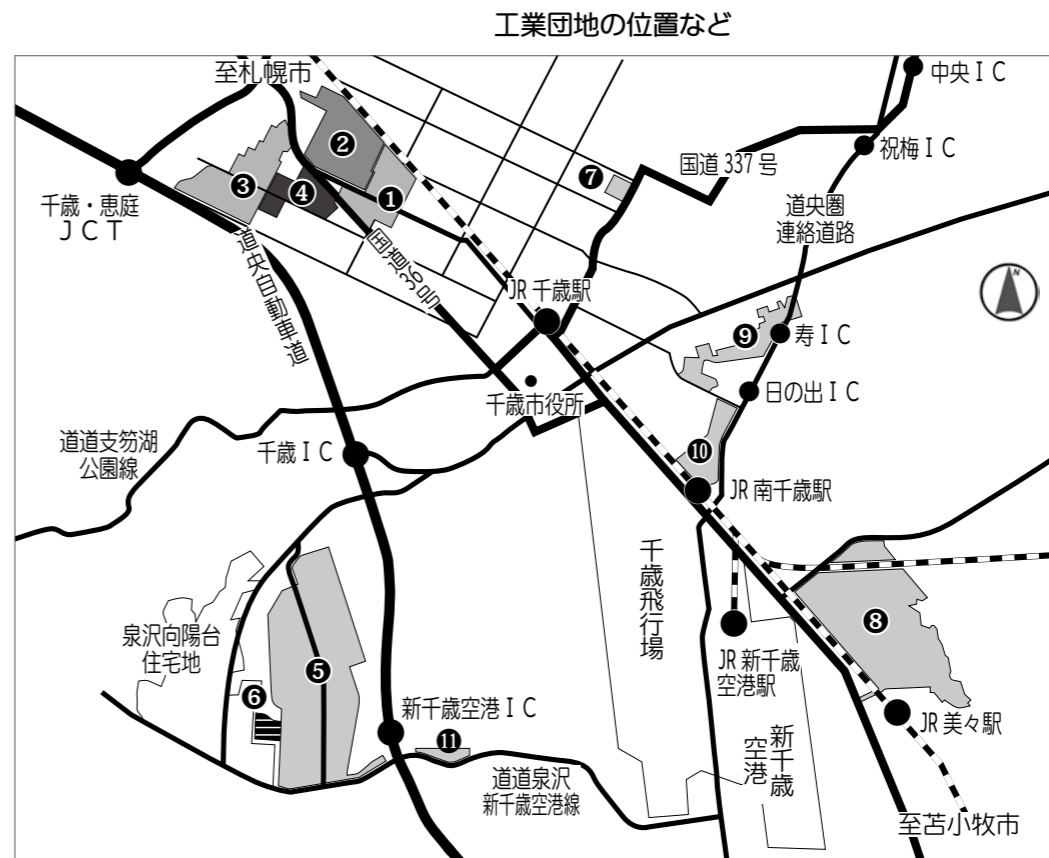
千歳の魅力



新千歳空港ターミナルビルと滑走路



千歳科学技術大学



工業団地の概要

千歳市の工業団地は、昭和39年に第1工業団地の造成に着手したのが始まりです。以来50年間で、千歳市土地開発公社や民間事業者による造成も併せて、10団地が整備されました。現在、11番目の団地として、新千歳空港ICの隣接地で「新千歳空港ロジスティクスセンター」の造成が民間事業者によって進められています。完成は、平成27年3月の予定です。団地内には、電子部品関連、自動車部品関連、機械関連、食品・飲料関連、医薬品関連などの他、印刷・パッケージ関連、運輸・物流関連、試験・研究開発関連など、さまざまな業種216社（平成26年9月1日現在）の企業が操業しています。

工業団地の面積・分譲状況・企業数など

(単位: ha、%、社)

団地名	総面積	分譲面積(A)	分譲済面積[リース含む](B)	分譲率	未分譲面積(A-B)	進出企業数	操業企業数
① 第1工業団地	55.66	47.98	47.98	100.00	0.00	23	23
② 第2工業団地	83.00	64.59	64.59	100.00	0.00	14	13
③ 第3工業団地	94.23	74.82	74.41	99.45	0.41	49	43
④ 第4工業団地	38.42	31.52	16.42	52.09	15.10	25	23
⑤ 臨空工業団地	401.80	214.41	168.19	78.44	46.22	89	68
⑥ サイエンスパーク	12.38	8.95	5.65	63.13	3.30	4	2
⑦ 根志越業務団地	6.96	6.46	3.27	50.62	3.19	7	6
⑧ 千歳美々ワールド	147.50	108.33	28.81	26.59	79.52	9	7
⑨ 流通業務団地	52.67	30.21	6.80	22.51	23.41	25	23
⑩ 千歳オフィス・アルカディア	39.44	29.82	29.82	100.00	0.00	9	8
⑪ 新千歳空港ロジスティクスセンター	45.75	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-
計	977.81	617.08	445.92	72.26	171.16	254	216

※新千歳空港ロジスティクスセンターの造成後の分譲面積は、33.6ha（予定）です。
※平成26年9月1日現在。

おいしさ千歳産 千歳市は、農業のまちでもおもしろい。

おいしさ千歳産

千歳市は、食品や飲料の製造工場をはじめとして、さまざまな企業が操業するまちであり、石狩管内では、有数の農業のまちでもあります。

市では、市内で生産される工業製品や農作物などを市民に広く知ってもらい、千歳で消費する「千歳千消」の取り組みを推進しています。

一方で、企業においても、千歳産の原材料にこだわった製品の製造も行っています。

「おいしさ千歳産」として、市内の工場に製造された食品・飲料を紹介するとともに、千歳の水、千歳の冷涼な気候、北海道の食材、良好な交通アクセスなど、立地環境の特性と優位性をPRしています。

また、市内の企業で構成される千歳工業クラブでも、今年度から「おいしさ千歳産部会」を設立し、小中学生を対象として、市内の食品工場などを巡る「おいしさ千歳産スタンプラリー」を実施するなど、地場の食品や千歳に進出した企業を積極的にPRする活動を行っています。

地元企業への就労促進

企業が千歳市内に進出し、操業を開始することにより、市内では、雇用が創出されます。

市は、人材育成や雇用促進の取り組みとして、千歳科学技術大学の学生向けキャリア形成プログラム授業を活用して、企業などによる講演や製造業への女性の就労促進を促すため、企業視察会などを実施しています。

この取り組みの一環として、「ものづくり」を巡る「ものづくり女性」が活躍する「ものづくり企業」を見学し、「ものづくり」への理解を深めてもらう、「ものづくり」なでしこ「バスツアー」を北海道や地元企業などと連携して実施しています。

このバスツアーは、9月に第1回を実施しており、第2回は、10月20日(月)に開催します。

興味のある方は、ぜひ、ご参加ください。



北海道は、サリリーマンが2度泣くところですよ。

(株)デンソー北海道は、車載用半導体センサーの生産拠点として、平成21年4月から千歳市で操業を開始しました。

今回は、千歳に進出するときを決め手となった「千歳の良さ」、「企業誘致のPR」などについて、お話をいただきました。

千歳に進出するきっかけは?

親会社は、愛知県で自動車部品を製造しています。近年は半導体製品の需要が急増しており、工場の増設を検討していたのですが、当時、愛知県はひどい人手不足でした。そこで、海外を含め、他の地域への進出を検討するようになったのがきっかけです。

新たに立地を決定するときの検討要素は??

- ①人材が容易に確保できること、②土地、③インフラ(サプライ

千歳の良さは??

平成21年に千歳に来てから、ここを選んで良かったという思いは今も変わりません。

チエーン構築、④安定生産、⑤物流、⑥空港や港湾などへのアクセスなどが検討要素になります。

私たちが検討したときは、全国21道県56工業団地を100点満点で点数付けをしました。

千歳の工業団地は、サプライチェーンや物流の点では、東北や九州の工業団地に負けましたが、最大の目的であった人材確保などの得点が高く、総合でトップになりました。人口190万人の札幌と千歳は電車で30分と近いので、やはり人は圧倒的に採用しやすいと感じました。

良かった点を具体的に挙げてみますと、①「社員の採用」。期待以上で、優秀な人材を確保することができました。

- ②「人が温かい」。美しい自然・おいしい食べ物は知っていましたが、望外の千歳の魅力です。
- ③「行政の支援」。市の方が身近にあり、あらゆる面でサポートしていただける。道内でも随一だと思えます。
- ④「水」。愛知のように湧水で困ることもなく、水の心配がありません。
- ⑤「雪」。千歳の積雪は多くても30、40センチメートルです。従業員が雪のために遅れて来たこともなく、業務上、困ることはありません。

他にも自然災害が少ないなど数えたらきりがありません。

サリリーマンが2度泣くところ

この言葉は、北海道への転勤の間でさやかれていました。北海道には行きたくないと言っていたが、数年後、帰りたくないと言っていた。2度目に泣くのを聞いて、多くの方は、「ほら、北海道っていいところですよ」で終わってしまう。1度目に泣かせたはいいないと思えます。

そうです、北海道の良さが本州には知られていないのです。特に積雪寒冷に対する誤解を解く必要があります。

もっとも北海道・千歳の良さをPRすべきで、微力ながら「10万人セールスマン作戦」の一人として、この地の良さ、住み良さを発信していきたいと思っています。

おわりに...

千歳市は、高度技術産業などが立地する工業都市であるとともに、働きやすく暮らしやすい環境を備えており、環境面でのバランスも良く、北海道で最良の工業適地といえます。

市は、企業の立地を促すため、各種の初期投資軽減制度、千歳市・北海道などによる各助成金制度、企業の要望にワンストップで対応する体制、進出後のアフターフォロー体制を整えて、さまざまな誘致活動を展開しています。

活力ある千歳、発展が続く千歳を次の世代に引き継ぐために、市民の皆さんも千歳市のセールスマンの一員として、ご理解とご協力をお願いします。



【千歳工業クラブ代表幹事】

デンソー北海道 代表取締役社長 杉本 正和 さん
平成25年3月から千歳工業クラブの代表幹事を務めています。

「北海道は、食べ物がおいしく、景色がすばらしい、そして人々が温かいのが何よりです。今では、私もすっかり千歳市民になりました。これからは、千歳の良さをPRしていきたい」と話してくれました。

千歳工業クラブは、昭和47年の設立で、市内の工業団地などに進出した工業関連企業、地場の工業関連企業で構成された正会員と工業関連企業以外で、会の主旨に賛同する賛助会員の124社で構成されています(平成26年6月22日現在)。

主に、会員間の交流会や地域の環境・交通安全に関わる事業などを行っています。

お問い合わせ
産業支援室
企業振興課
企業誘致係
☎(42)0522